

EDELWEISS

今年の秋は日本色？

待ちに待った夏休みも終わってしまいましたが、皆様は夏を満喫されましたか？

でも、秋だって捨てたもんじゃない！
9月14日に新シーズンを明けるトーンハレ管弦楽団の今年のCreative Chairは、ベルリンに拠点を置き世界に新曲を発信し続けている細川俊夫氏。彼が作曲の過程を書道の筆捌きに例えたことから、チューリッヒが誇る書家で当会会員でもあるクロッペンシュタイン翠秀氏とのコラボコンサートがRietberg美術館で開催されたり（詳しくはP5の広告を参照）、新作のフルート協奏曲もシーズンオープニングコンサートで聴けたりする他、野平一郎氏編曲のバッハ「フーガの技法」もプログラミングされています。〈細川作品は来シーズン通して、ハンブルク州立歌劇場が2016年に細川氏に委託した彼のオペラ《海、静かな海》の間奏曲（嵐を表現していると作曲者が語る）や《瞑想～3月11日の津波の被害者に捧げる》も聴けます〉

そして、「東京剣舞会エッジー志伝流一」が来瑞して、ベリントォーナ・ジャパン祭や大使館でパフォーマンスが観れたり、雅楽の公演も続きます。

9月22日から始まるチューリッヒ映画祭でも日本映画が取り上げられるでしょうか。またそれに伴い、映画音楽コンクールもトーンハレで毎年開催されているので、日本人作曲家がエントリーするといいですね。

そんなわけで今年の秋も、楽しみいっぱい！(SN)



© Yoko Kamata Photography

Die japanischen Farben im Herbst?

ワインテイスティング開催

我が家の家のアパートの入り口を覆う葡萄棚に、重そうな葡萄の房がぶら下がる「収穫の秋」が訪れました。裏の葡萄畑もすっかり色付いてきた今日この頃、JCZでは今年もチューリッヒ湖沿いのワイナリーでワインテイスティングを開催します。チーズと干し肉のおつまみもあるので、お昼時でも安心です。詳しくはP7をご覧ください、奮ってお申し込み下さい！



Museum Rietberg

- 巻頭文
「君たちはまだ長いトンネルの中」 青砥 玄 (会長)
- 私のイチオシ、シェアします! Vol.27
「バルカン半島民泊周遊 (前半)」 齋藤 旭さん
- ホイツァメ Vol.9
「スイスドイツ語、山あり谷あり」 長坂 道子
- 我々の食べ物はどこから来たのか? 第5回
「日本人とヤクート人と個性」 清水 健太郎
- Kette(会員の輪) Vol.161
長田 忠雄さん (フォルヒ在住)

巻頭文：「君たちはまだ長いトンネルの中」

青砥 玄 (会長)

日本のアニメや漫画文化は海外でも評価が非常に高く、多くの外国人にとって、日本に興味を持つきっかけとなっています。世界がコロナ禍に苦しむ2020年「鬼滅の刃」は、日本において想像を絶するフィーバーを巻き起こし、それは世界にも広がってゆきました。

今回皆様に紹介するのは「君たちはまだ長いトンネルの中」という日本映画です。これは2019年7月に発売され、ネットで大きな話題となった漫画「こんなに危ない!?消費増税」(ビジネス社刊)を原作として作られた社会派青春ストーリーです。ハリウッド発の『トップガン』続編が大々的に公開されている日本で、かなり地味ではありますが静かなブームとなっています。高校生の主人公がマスコミで報道されない本音を主張し、様々な摩擦を生みますが「今だけ、カネだけ、自分だけ」といった現代の風潮をよしと出来ない若い情熱を大人たちにそのままぶつけてゆくその姿勢には、多くの若者たちをはじめとするネット民が応援を始めています。多くの人々に見てもらいたい内容です。

「戦後この国は何処よりも高度経済成長を遂げた、なんて誰かが言っていた」という女子高生のつぶやきで始まり、バブル景気・バブル崩壊も知らずに生まれ育ち、不景気しか知らない若者目線では展開してゆきます。未来に希望を見出しにくい現代の若者たちが主人公ですが、それでも彼らは内から湧き上がる正義感に突き動かされて、おかしな現実を変え未来を明るくしようと動き出します。

20年以上のデフレの上に、パンデミックに見舞われたこの国で、自分たちに何ができるのか、その問いを青春映画として昇華した異色の作品で、監督・脚本を手掛けるのは舞台「炎ノ消防隊」、ミュージカル「ヘタリア」シリーズなど、数々の人気漫画を原作とした舞台の企画や演出・脚本等を手掛ける“なるせゆうせい”氏です。

コロナ状況下で経済ばかりでなく、精神的にも大打撃を受けた現下の日本社会を何とかしなくては、と自ら立ち上がった女子高生・高橋アサミの情熱と行動力により、多くの大人たちが論破されてゆくというなかなか爽快な物語です。

ストーリーを簡単に紹介します。主人公の高橋アサミは、父・陽一郎(川本成)と近所のスーパーで買い物をしている回想が描かれて物語は始まります。父はまだ小さなアサミに「安い方がいいとは限らないよ」と言いますが、彼女にはその意味が良く理解できませんでした。数年後父は交通事故で他界。高校生になったアサミ(加藤小夏)は、親戚の長内銀次郎(モト冬樹)とその妻・美津子(かとうかず子)の家に居候をすることになります。美津子は寂れた商店街で定食屋を営んでいますが、コロナ禍の直撃を受けたにもかかわらず、時短要請の対象外で助成金を受けられず、

経済的に逼迫していました。ある日、アサミは経済の授業で社会科の音先生(あまりかなり)が説明する「アベノミクス」の効果に対して食いつき、緊縮財政の現政権を否定して、金融緩和による財政出動が必要だと訴え始めます。マスコミと財務省によって醸成された「政府の借金問題」の嘘を暴き、音先生を論破するものの、それが問題となり教頭先生(金剛地武志)に呼び出されてしまいます。そこでもアサミは容赦なく教頭を説得し、その様子を見ていたクラスメイトの安倍晋一郎(北川尚弥)と中谷勇気(定本楓馬)は彼女に惚れ込んでゆきます。

元財務相の父の影響もあり、政治に対し人一倍強いイデオロギーを持ち、政治経済の授業では疑問に思ったことを先生に問いかけ論破。また学校の外部相談役・二階堂議員(萩野崇)から注意を受けても、自ら調べ辿り着いた答えを曲げることはありません。しかし女子高生のアサミにこの国を救えるわけもなく、彼女ができるのは、父の他界後に面倒をみてもらっている親戚夫婦の店や、衰退していく商店街を少しでも盛り上げることくらいでした。

そんなある日、アサミと中谷は商店街のお祭りを取材してもらおうと地元の手若新聞記者・荒畑(高橋健介)に掛け合いに行き、その帰り道、元戦隊ヒーローとして活躍していたタレント議員の武藤(蒼木陣)と遭遇。またとないチャンスと思ったアサミは、武藤に駆け寄り「総理大臣に会わせてほしい」と直談判。その出会いをきっかけに小さな波紋が、やがて大きな波紋へと広がってゆきます……。

この女子高生の気持ちを表現しているのが、“あまりかなり”の歌う主題歌(抜粋)です。「小さい頃、描いた未来、今だけだけ叶ったのかな?知らないうちに妥協して、気付けば暗いトンネルの中、誰かがどうにかしてくる、だけどそれは幻想だね。ずるい大人が得をする、気づけばそんなルールの中。何かをすれば批判を浴びる出る杭は打たれるだけどうした!叩けないほど突き抜ければ、そいつが旗印になる。何かに身を任せるな切り開くのはいつだって自分だ『ここにいるよ!』自分が声上げなきゃ、この闇は抜けられないんだ、いつかこの気持ち、忘れてしまうのかな。その前に、がむしゃらに、立ち漕ぎで、大声で叫びたい。習ったはずの公式で、社会の難問解決したかな?余計な情報だけあふれ出し、本当の事は埋もれて。何をするかも、何もしないかも、選択は自分の手の中にある。嫌われても叫ぶ君の言葉は、銃弾よりも強く貫く。空を見ても、ヒーローやって来なけりゃ、自分でなればいいのさ。何かに身を任せるな、切り開くのはいつだって自分だ。『ここにいるよ!』自分が声上げなきゃ。この闇は抜けられないんだ。」

映画監督のうじきつよし氏は「たいへん丁寧に真摯にテーマと向き合っておられ、静かなる闘志、不屈のエネルギーが全編に

滲む、とってもポジティブな作品!そのまま朝ドラで全国放送して欲しい!」と評価しています。また映画評論家のバフィー吉川氏は「おかしなことに“おかし”と言えない世の中で、今年公開された日本映画の中でトップクラスの作品」と評価しながら以下のように評論しています。

『学校の先生や政治家、池上〇といったコメントーターが垂れ流している間違いだらけの日本経済情報に女子高生がズバズバと切り込み、論破していく爽快感が見事で、いかに国民が間違っていた情報が踊らされているかが、どんどん浮き彫りになっていく。徹底的に政府批判をしているだけでなんの答えも見いだせない、ただのネガティブキャンペーンのような映画とは全く異なりながら、それでいて右翼・左翼に分かれたような極論ではない。

根本的に国の言っていること自体が間違っているという、ただ単純でストレートな主張と問題点への指摘でしかないのに、なぜかそれが変人扱いされてしまうおかしな世の中。

大人たちは、社会やメディアというものが作り出す「風潮」によって、いつしか“おかし”と思っても、それを言う勇気や発言権さえも奪われていってしまい、それに逆らう気力も失われてしまう。大人になるということは「疑問を持つてはいけない」ということなのだろうか……いや、そんなバカな話はない。社会への忖度がなく、しかし社会に出ることが間近となった高校生という、子どもと大人の間際の視点だからこそ、“おかしこと”に“おかし”と言える。本来、全ての国民がそうでなければならないというのに、どうなっているのだろうか……。ひとりひとりの国民がもっと日本経済というものを意識して、興味を持ち、変えていかなければならないという、そんな当たり前のことが身に沁みてわかる作品である。文部省推薦の、ただ泣ける要素の詰まった映画よりも、よっぽど学校で見せるべき映画だと思う。』と絶賛しており、大いに共感いたします。

一人の高校生が、風潮や空気に振り回されるのではなく、この国の政治を動かせるのは、一人一人の意識であり、声であることを再確認させてくれる、極めて見応えのある良い内容です。

《今回ご紹介した映画と本》
なるせゆうせい【君たちはまだ長いトンネルの中】
君ト制作委員会HP www.kimiton.com

マンガでわかる
こんなに危ない!?消費増税
作者:
消費増税反対botちゃん
解説:藤井聡
発行人:唐津隆
発行所:株式会社ビジネス社
価格:¥1,320
www.amazon.co.jp



ご意見ご質問は青砥まで Gen.Aoto@toyota.ch

突然の帰任命令に備え、時間ができたら旅行に行くというスイス駐在生活も10年目に突入してしまっただが、そんな我が家の旅行のコンセプトは、「その土地と人を体感する」に尽きる。基本的に移動手段は車。街と街の間に点在する小さな村々を通りすぎる時こそが旅のハイライト。そして、宿泊は民泊。これが一番の楽しみともいえる。その土地の人々の生活が一気に見えてくるからだ。

民泊といってもいろいろなスタイルがあり、一番多いのは投資マンションタイプ。これはあまり面白くない。鍵の受け渡しくらいしか貸主さんと会う機会がなく、大抵チェックアウトは鍵を指定の場所に置いておくだけ。酷い時にはチェックインすらキーボックスの番号がSMSで送られてくる。

しかし、中には二世帯住宅タイプや離れ家屋タイプ、一時退避タイプや完全同居タイプなどもある。一時退避タイプというのは、普段はそこで生活しているが、今日は予約が入ったので、自分は他で暮らしている家族のところへ厄介になってくる、というタイプ。

今日お話ししたいのは、2017年に行ったバルカン半島旅行のこと。とにかく楽しくて、新しい発見が沢山あった良い旅だった。

現地人との距離感が近すぎるこのスタイルの旅行を小さい子連れで（当時はまだ3歳と2歳）、さらにバルカンの未知なる国々でやって、家族が怖い目に遭ったらどうするんだ？、と同僚のスイス人おじさんが悪気のない顔で僕に言った。ネットで調べると、ふむふむ、99年のNATOによるセルビア空爆、コソボ紛争後も続く両国の対立、まあこのあたりは聞いたことがある。...ん、待て待て、ねずみ講が原因で国家経済が破綻、90年代まで鎖国状態、ヨーロッパ最貧国、マフィアによる麻薬組織...。ゴクリ、なんだこのアルバニアって国は！！

俄然興味を持ってもっと調べてみると、ドイツで1年間に盗まれるベンツの9割はアルバニアにあるなんてことも実しやかに書いてあった。他にも、各国でバラバラな通貨の問題、SIMカードの問題、車での出入国の問題など挙げればキリがない。もはや言葉の問題なんて小さなことだ。



STADT, BERG ODER INSEL? 私のイチオシ、シェアします！

—バルカン半島民泊周遊（前半）—
齋藤 旭

とはいえ、僕のワクワク感は既に最高潮に達している。まあ、行って見て本当に危なそうだったら、ずっと部屋に籠ってればいいや、くらいの気持ちで旅に出た。

チューリッヒからクロアチアのザグレブまでは飛ぶ。空港でVWのTouranを借りていよいよバルカン半島周遊スタート。まずは南に走り、プリトヴィツェへ。かの有名な湖群国立公園、聞いていた通り素晴らしい。そこからさらに南下してザダル。ヒッチコックが世界一と言った夕日にはギリギリ間に合わず。ここでの民泊は無難な投資マンションタイプだった。オーナーは鍵を渡してそそくさとしてしまった。...しまった、地元の美味しい食堂を聞き忘れた！

民泊の良さは沢山あるが、中でも地元民に近所の良い店をいろいろ教えてもらえるというのは大きい。そして、大抵の場合洗濯機が置いてあるということも有難い。うちの場合、着替えは2～3日分しか持っていけない。チェックイン直後のルーティーンとして妻は洗濯機を回す。彼女は最初のうちこそオーナーに洗濯機の使い方を聞いていたが、もはやどの国のどの言葉で書かれていても洗濯できるレベルにまで達した。その間、僕はお湯がちゃんと出るか、インターネットが繋がるかを確認し、ソファベッドを展開する。初日の夜は無難に終わった。

2日目は進路を東にとり、まずはスプリットを目指す。港でフェリーに乗り換え、フヴァル島へ降り立った。ここでも当然民泊。

地図では港から歩いて行けると踏んでいたが、まさかの厳しい上り坂。ペピーカーを押しながらスーツケースも引いて行くのはなかなかの苦行だった。

スタリーグラードのキラキラした港街とは違って変わって閑静な（要は何もない）住宅街のど真ん中。奥の母屋からオーナーが出てきて離れに通してくれた。うむう、ここは洗濯機もないし、シャワーの出も悪い。そしてソファベッドがふにゃふにゃではないか...。年配夫婦だけあって英語コミュニケーションも空振りばかり。残念ながら今日はハズレと言わざるを得ないが、そういう当たり外れも含めて旅を楽しんでいるんだと切り替える。とはいえ、とっても優しいご夫婦で、翌朝はくたびれた小型のハッチバックで港まで送ってくれた。

フェリーで戻ったスプリットの旧市街の人込みに散々やられた後、例によって少し離れた住宅街の民泊へ。ここは面白かった。オフィス用に設計されたと思われる0階の物件で（実際に向こう何軒かはオフィスやショールームだった）、だだっ広いワンルームに大きな窓、小さなキッチン、洗濯機、ダイニングテーブル、ベッドからソファまで全部入りだった。オーナーはいかにもビジネスマンという感じのおじさんで、地元の人が集う食堂のような店を教えてくださいと言ったら、近くの路地裏の店を詳しく教えてくれた。

この食堂、たしかにたっぷりと人が集っていたが、見事におっさん（むしろおじさん）ばかり。暇なじいさん達のアイドルのような太ったおば様が、地元のワインでトロトロになるまで煮込んでくれたお肉のシチューを食べさせてくれた。あまりにも旨すぎて、翌日の昼も出発前にもう一度寄ってしまったほどだ。

さて、さらに東へ。皆さんご存知、ドブロヴニク。旧市街を見下ろすケーブルカーの中腹にある二世帯住宅タイプの民泊へ。アンティークな調度品が満載の室内はオーナー老夫婦のご趣味なのだろう。こういうのを味わうのも民泊の面白さ。建屋は古いが、テラスから旧市街を見下ろせるナイスロケーションだった。（次号に続く）

【大使館からのお知らせ】

(1) 次回領事出張サービス

日時：10月15日(土)
10:00-12:00 13:00-15:00
チューリッヒ日本人学校
日本式2階音楽室
Florastrasse 18A, 8610 Uster
<https://jszurich.ch/>
時間を変更する場合があります。
受付：9月29日(木) 大使館必着

詳細はQRコードからアクセスしてください。



(2) 出国前検査証明提出の見直し

9月7日午前0時（日本時間）以降、有効なワクチン接種証明書を保持している全ての帰国者・入国者については、出国前72時間以内の検査証明の提出を求めないこととします。詳細はQRコード(下)からアクセスしてご確認ください。

出発前は海外安全HPもチェックしましょう！
www.anzen.mofa.go.jp



入国時の検疫手続き

検疫手続きにはファストトラックの利用が便利。入国前にWEB上で検疫手続きを行うことができる「ファストトラック」を利用することで、入国時の手続きを簡略化できます。ファストトラックHPへはQRコードからどうぞ。



新規入国の外国人は、査証が必要です。査証申請については、QRコードから専用ページへアクセス。



Hoi zame

ホイツァメ

言葉に寄り添う居場所探し

⑨

スイスドイツ語、山あり谷あり

長坂 道子

エッセイスト@スイスドイツ語勉強中

「Märitのサラダ」とある。はて、どんなサラダだろうか、と首をかき上げる。

そこはベルン連邦広場に面した店で、目の前には連邦議事堂。横にあるのは連邦政府メディアセンター。ベルセ保健大臣やBAG（連邦保健庁）引退前のコッホ氏らの緊迫した記者会見が毎週のように全国に中継されていたのは、ああそうか、ここからだだったんだ、と感慨深い。しかし時は2021年の12月。やがて飲食店がまた軒並み閉まってしまうということもその日はまだ知らずに、初めて訪れたベルンのクリスマスマーケットを楽しく散策した後、じゃあ、ご飯でも食べていこうか、と、友人とこの店に入ったところだった。

「これはどんなサラダなんですか？」

「は？」

私の素朴な質問の真意を測りかねてか、給仕のお兄さん、顔を一瞬こわばらせる。「えーっとですね、つまり、それは新鮮な葉っぱを使ったサラダで」

頭の中でぐるぐると渦が巻いて、そして私はやっと理解した。そうか、マーケット

のサラダ、という意味なのだ、これは、と。

Markt（独語）→Märt（スイスドイツ語）——そこまでの変換は、私も知っていた。しかしそこに「j」の一字が紛れ込んだだけで、融通の利かぬ固い頭はすっかり迷子になってしまったのだ。噂には聞いていたが、おそるべし、ベルンドイツ語。そして、なんと情けない、私のスイスドイツ語理解力。なんだかがっかりだ。

「私もね、ベルンドイツ語はいまだによくわかんないよ」

この地に長く、スイスドイツ語も全部理解しているように見受けられる友が、そう言って慰めてくれる。私たちは揃ってステータルタルと“メリット”のサラダを注文し、せっかく首都にいるんだし、とスイスワインで乾杯した。

さて、あの日から半年余りたった夏の朝、家に工事の人がやってきた。シャッターの工事の人、そしてコンクリートの壁に穴を開ける工事の人。前者をAさん、後者をBさんとしておこう。スイスドイツ語を2年くらい習ってきたささやかな成果に気を良くし、最近は「すみません、ハイジャーマンでお願いできますか」という、ちょっと後ろめたい決まり文句をあまり言わなくなってきているが、その日も私は最初からそのつもりで腹をくくっていた。

Bさんはしかし、私の風貌がアクセントに反応したのだろう、頼んでいないのに、最初からハイジャーマンでお話しになる。逆にAさん、大変フレンドリーにスイスドイツ語を聞く。そのスイスドイツ語が、だが、なぜか驚異的にわからないのである。いくら下手だからといって、ここまで意味がわからないのはちょっと珍しい。二人のおじさんたちの間を行ったり来たり

しながら、Bさんのスイス訛りハイジャーマンが一服の清涼剤のように聞こえてほっとする。

あの人（Aさん）のスイスドイツ語って一体.....?

二人が仕事を終えて帰った後、夫にそう尋ねてみた。彼はこの間、オンライン会議があり、工事の対応は私に託されていたが、休憩時間にちらっと出てきて彼らと少しだけ言葉を交わしてもいたからだ。

「ああ、Aさんね。ちょっと聞きなれない方言だと僕も思って訊いてみたところ、アルガウとベルンの州境のアルガウ側の出身だとのこと。基本、ベルンドイツ語だけど、それとも微妙に違う感じだったね」

冒頭で触れた小さな「i」——母語や、それに準ずる到達度がある言語内では、おそらくそれほど障害にならぬであろう、こんなちょっとした変異（ヴァリエーション）で、こちらはすっかりお手上げ。また、州の境を少し越えれば、理解度はガタンと下がる。なんとひ弱く応用の利かぬ私のスイスドイツ語であることだろう。

人口800万人ちょっとの小さな国。その中の、わずかに150万人くらいの人が話す言葉（チューリッヒドイツ語）を、せめて聞いて意味がわかるようになりたい。そんな控えめな悲願のために一体どれほどのお金と時間をかけてきたことだろう。山と谷のこの国で、今、自分は何度目か谷間でウロウロしているなどと思う。この徒労感から気を取り直してまた山を登り始めるのに、どなたかお手、または杖などをお貸しくださいば.....。

※ホイツァメ/Hoi, zamme(Hallo, zusammen)は「みなさん、こんにちは」という意味のスイスドイツ語表現

チューリッヒ日本人学校補習校

入学募集説明会
(2023年4月入学)

2022年11月19日(土)

補習校/小学部・幼稚部・国際部 11:30~12:00
申込み制 ※詳細は本校HPをご覧ください

- ・事前に申込みされた方のみ参加いただけます
- ・申込み期限: 10月28日(金)
- ・申込後、説明会詳細(対面あるいはオンライン)が決まり次第、11月頃に連絡いたします

2023年度申請受け中
入学募集(2023年4月入学)

小学部 1年 午前クラス・午後クラス
幼稚部 午前クラス・午後クラス

- ・申請書をお送りください
 - ・クラス分けは2023年1月28日に行います
 - ・クラスが成立しない場合、ご希望に沿えない場合があります
 - ・各クラスとも定員に達し次第、順番待ちとなります
- 2024年度入園・入学申請は、今しばらくお待ちください

幼・小・中・高 教員・代替教員 随時募集
履歴書をお送りください

- ・毎週土曜日2~4時間の国語の授業
- ・教員免許状のある方(どの教科でもかまいません)、塾で教えた経験のある方
- ・労働許可がある方に限ります

問い合わせ先
Japanische Schule (Hoshuko)
TEL: 044-941-1554 電話での問い合わせ: 土曜日
E-mail: hoshukoz@hotmail.com
HP: www.jszurich.ch

大募集!



チューリッヒ日本人学校全日校
ボランティアとしてご協力くださる方、大募集!

チューリッヒ日本人学校全日校より、講師としてボランティアのご協力をいただける方を募集しております。テーマは、「スイスの食材」「スイスの伝統菓子」「スイスの観光(特に温泉・サウナ)」です。これらのテーマにお詳しい方、ぜひボランティアとしてのご協力をお願いいたします。

本校は、日本のカリキュラムに則って教育活動を行っております。日本のカリキュラムには、国語、算数などと同様、「総合的な学習の時間」という領域が週に2時間あります。この総合的な学習の時間は、教科書を使用し、あらかじめ決まった答えを学んでいくものではありません。実生活・実社会を舞台とし、様々な人々と協働しながら問題解決をしていくことを通して、子どもたち自らで納得する答えを導き出していくものです。本年度、総合的な学習の時間のテーマを「スイスの食材」「スイスの伝統菓子」「スイスの観光(特に温泉・サウナ)」と設定し、各クラスで学習活動を進めております。

学習活動の中で生まれる子どもたちの疑問にお答えいただける方、子どもたちの思いや願いの実現に向けてサポートして下さる方、大募集です。サポートの頻度は、別途ご相談させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

チューリッヒ日本人学校
全日校総合的な学習の時間担当 久保 祐貴

有料広告

museum rietberg

Gesprächskonzert

mit Komponist Toshio Hosokawa

— 作曲家 細川俊夫の講演会とコンサート/ 小さな書展 —
世界的に有名な現代音楽作曲家、指揮者でもある細川俊夫が
Tonhalleの招きでチューリヒに!

細川俊夫にとって筆の線、墨書、ひいては書の背景にある精神的要素、これら全てが彼の作品に多大な影響を及ぼしている。Museum Rietberg、Tonhalle-Gesellschaft Zürich、並びにZHdK(Die Zürcher Hochschule der Künste)共催による細川俊夫の講演(ドイツ語)とコンサート《書》が、2022年9月17(土)午後4時からMuseum Rietbergにおいて開催される。※チケットは6月27日よりMuseum Rietbergに於いて購入可能。尚、これに関連して小さな書展が8月23日(火)から10月9日(日)迄、Museum Rietbergに於いて開催され、博物館が所蔵する書のコレクションと共にチューリヒ在住の書家クロッペンシュタイン翠秀の書作品3点が展示される。

会場: Museum Rietberg 地下2階
Gablerstrasse 15, 8002 Zürich
<https://rietberg.ch>
TEL: +41(0)44 415 31 11
言語: ドイツ語
所要時間: 約60分 (休憩なし)
イベント開始の30分前

チケットのご
購入はこちら
のQRコード
から (独語)



有料広告

展覧会一心画「書・墨蹟展」

会期: 9月3日(土) - 10月30日(日)
オープニング 9月3日(土)
講演会「書と墨蹟」、席上揮毫、作品ガイド: 10月1日(土)
展示作品: 墨蹟: 山川宗玄老師
書: クロッペンシュタイン翠秀と門下生、
並びに「心画書学院」講師
展覧会場: 在スイス日本国大使館 広報文化センター
Engestrasse 43, 3012 Bern
Tel: 031-3051570 (要予約)
Email: jicc@br.mofa.go.jp

ご笑覧頂ければ幸いです。
尚、詳細はQRコードを読み取り、
専用ページにてご覧ください。



Ausstellung
Bilder des Herzens
Schriftkunst und
Tuschespuren
3. September bis
30. Oktober 2022

Eintritt: Kostenlos

Malort im Dörfli

Wir laden ein
zur Eröffnungsfest
am 10. September 2022
von 16:00 bis 20:00



Maltherapeutin Alana Gahlerのアトリエ(旧市街)でお子さんが何にもしばられず、自由にのびのびと子供の内面から出るもの、創造力を絵で表わす時を持つのはどうでしょう。Alana自身はチューリッヒ大学・心理学科卒業。Arno Stern MethodeをもとにMaltherapeutinとして研究修業。Alanaは小さい時から何年もCéléstine Fanger-Carigietのアトリエで絵を描いていました。C.Fanger Carigietは世界的に有名なスイスの芸術家・画家・童話作家のAloise Carigiet (*1902 - +1985) の娘さんです。

日程: 9月10日(土曜日)
時間: 16:00- 20:00 *参加無料
場所: Malort im Dörfli, 1.Stock,
Stüssihofstatt 11 8001
www.malort-doeffli.ch
alana@malort-doeffli.ch
078 688 01 20
通常は水曜日の午後1時間半(40フラン)
4歳~10歳の子供対象

【お問い合わせ】
Hiroko Graber 079 236 55 00
hiroko.graber@gmail.com



HPへはこのQRコードからアクセス

有料広告

日本の響きコンサート『黒髪』

2022年9月4日(日) 11:00
Zunfthaus zur Waag, Münsterhof 8, 8001 Zürich
入場無料、Kollekte
「箏曲地唄、春の海、民謡、他」
竹下数雄(テノール) 酒井佐保子(三味線)
林智津子(箏) 竹下数雄

新・プレイグループでんでんむし園児募集

Norastrasse 34, 8004, Zürich
毎週火・木8:45-11:45、歌、絵本、工作など
楽しく日本語であそびましょう。
2歳半~4歳対象
<https://playgroup-dendenmusi.business.site>
まずは無料体験から 079 106 01 99
お問い合わせはバルボン里佳子まで「坪井」
rika@spielgruppe.net



team104.ch

team104東北支援バザー

9月18日(日) 11時よりHottingerplatz ZHにて、着物・和食器などのバザーと、和菓子・軽食の販売を致します。売り上げは全て岩手・福島・宮城県の被災児童のためのプログラムに寄付されます。どうぞお出かけ下さい。ホームページ team104.ch
お問い合わせ: seiundo@bluewin.ch

東京剣舞会エッジー志伝流一

殺陣・舞踊を基調とし、獅子舞・忍者・試斬実演などを通して、「日本を唯一無二の芸術国」とするために活動しているというしゃる皆さんがスイスにいらっしやいます。以下の日程で見られます。
在スイス日本大使館 9月8日18:00
ペリントンオーナ・ジャパン祭
9月10日15:15、19:00、11日16:00~
www.japanmatsuri.org



我々の食べ物はどこから来たのか？

第5回 日本人とヤクート人と個性 栽培植物とともに人間も犬も進化した

香川県高松市（後半）

清水 健太郎

約1万年前、人類は栽培植物を生み出しました。これまでの連載で見てきたように、人間は野生植物を進化させ、栽培イネやパンコムギなどを生み出してきました。実は植物だけでなく、人間も多様に進化した、というお話をしたと思います。

穀物やイモ類には、デンプンが豊富に含まれています。日本やヨーロッパの農耕民は、食物を栽培することによってデンプンを多く食べてきました。一方で、世界各地の狩猟採集民の中には、デンプンをあまり食べない人々もいます。例えば北東アジアで牧畜・漁労を営むヤクート人は、ほとんどデンプンを摂取しません。

唾液には、デンプンを分解する消化酵素アミラーゼ（ジアスターゼ）が含まれています。アミラーゼ遺伝子の数は個人差が大きいことが知られていて、2個だけ持つ人も15個も持つ人もいます。このように、個人によって遺伝子の数が違う現象を、コピー数変異といいます。そこで、世界各地の7民族の人々のアミラーゼ遺伝子の数を比較する研究が行われました（Perry et al. Nature Genetics 39, p. 1256, 2007）。すると、デンプンをよく食べる地域の人々はアミラーゼ遺伝子のコピー数が多く、消化酵素活性が高いことがわかりました。たとえば、日本人、ヨーロッパ系アメリカ人、それにデンプンの多いイモ類を狩猟採集するアフリカのハッザ族は、70%以上の人々がアミラーゼ遺伝子を6つ以上持っていました。一方、ヤクート族やアフリカ熱帯雨林の狩猟採集民などデンプンをあまり食べない人々では、その半分くらい(37%)でした。

デンプンを多く食べる場合には、アミラーゼ消化酵素活性が高い方が有利なのではないかと考えられます。そこで、日本人とヤクート人のDNA配列データを詳細に比較解析したところ、日本ではアミラーゼ遺伝子が多い方が有利で、コピー数が多い型の頻度が上昇したことを支持する結果が得られました。

また、アミラーゼが多い人は、口の中で素早くデンプンを分解して甘みを感じられる可能性が、NHKスペシャルの「食の起源」（2019年）でも紹介されていました。「お米がおい

しい」のは当たり前と考えられるかも知れませんが、人によっては、お米やパンは味があまりしないかもしれないのです。こうしたことから、アミラーゼ遺伝子のコピー数は、肥満になりやすいかどうかという健康面へ影響する可能性も報告されています。

「進化」という言葉は様々に使われますが、生物学の一番厳密な進化の定義は、世代間で対立遺伝子の頻度が変化することです。アミラーゼ遺伝子のコピー数が多い方が、デンプンの多い環境ではわずかに有利で、より生き残ってより子供を残し、頻度が増えていった、というのがまさに進化なのです。人類は農耕開始以降の数百世代程度の間も進化を続けてきたのです。

このように、人類は植物を進化させて農業革命を起こすことで、自分たち自身も進化してきたのですが、さらに動物も進化させました。イヌはオオカミから家畜化されたのですが、イヌのアミラーゼ遺伝子の数も増加したことが報告されました。犬種によるなどまだ論争が続いているところもあるのですが、ヒトはデンプン質の食物を与えることで、無意識にイヌのアミラーゼ遺伝子の数を進化させたようです。

ここで改めて個人差に戻ると、平均すれば日本人にはアミラーゼ遺伝子の数が多いのですが、日本人の中でも大きな差があります。そう考えると、日本人の中でもお米の味の感じ方には相当な多様性があるはずです。日本人やヤクート人など一括りにすることで理解しやすい面もありますが、マイノリティが不利益を受けないように配慮することも重要でしょう。一昔前まで給食は全員同じものを完食することが基本となっていました。しかし、生物学が進めば進むほど分かかってきているのは、人類の進化を反映して、食べ物についても生まれつきの個人差があるということです。自分の体にいい食事が相手にはよくないかもしれない、自分のおいしいものが相手にはまずいかもしれない、ということを想像してみると、個性を尊重した社会に少しだけ近づけるのではないのでしょうか。

参考文献

奥田雅子 日本人の「遺伝子」からみた病気になりにくい体質の作り方 講談社ブルーバックスB2197, 2022年

9月のアフタヌーンカフェ

前回のカフェはMIYUKO-Tearoom/Caféで、にぎやかなおしゃべりの時間を持つことができました。今回はJelmoliのカフェで開催します。この夏をスイスで過ごされた方、国外に出られた方、楽しいお土産話も聞かせてください。

日時：9月8日(木)14:00～16:00
 場所：Jelmoli レストラン3F
 申込：Japan Club Zurich
 HPイベント申込フォームより、またはメールにてkikaku@japanswiss.ch

ドイツ語サポートサービス

日頃ドイツ語が分からなくて困っていることはありませんか？

JCZではそういった方々のサポートを行っています。ご利用になりたい方は、いつでもメールでご相談ください。サポートの内容にもよりますが、10フラン程度を寄付という形でお願ひしています。

申込先：JCZ事務局
 メール：jcz@japanswiss.ch

7月のアフタヌーンカフェ@MIYUKO

便利なJelmoliの3階レストランで行われていた毎月のアフタヌーンカフェですが、7月は趣向を変えて、毎年新年会にも景品を寄付して下さっていたJCZではお馴染みのMIYUKOへ。市内中心部のBärenegasseに移動してから「一度行きたい」と思っていたので、大喜びで参加しました。12人ほどの集まりとなり、久しぶりの方のおしゃべり、初めての方との出会い、そしてバージョンアップしたティータイトメニューを楽しみました。サービスを担当してくれたドミニクさん、大変にフレンドリーで大勢のそれぞれの注文に根気よく笑顔で対応してくれ、とても気持ちよかったです。お店は以前ほどロマンチックに作り込んではいませんが、明るくて温かい雰囲気。私の頼んだスコーンセットも抹茶、ほうじ茶、麦茶のスコーンにサンドドルンのジャムやらピーツのフムスなど、甘いだけでなく以外なる組み合わせで驚かされました。いつもと違う場所でのアフタヌーンカフェは、それだけでとても新鮮な感じで、大いに楽しめました。たまにこんなのもいいと思います！企画、ありがとうございました。(KC)



Sammlung Merzbacher
 メルツバッハー・コレクション展ガイドツアー

Kunsthaus Zürichの新館には3つの個人コレクション展示会場があります。今回其のうちのひとつメルツバッハー・コレクションを柿沼さんの奥の深い解説に魅了されながら鑑賞しました。フランス画家の部屋から始まり、特に正面にある収集家の色彩への拘りが伝わってくる鮮やかな2枚の絵、大きな壺に活かされた生花の香り、そしてドイツ画家達の力強い濃厚な色彩画へと続き、最後にはPipilotti Ristの音、光で癒され、全てを考慮し、細部に至るまで計算された展示に感動。94歳でご健在のMerzbacher夫妻はユダヤ系ドイツ人で、過去の辛い人生の中スイスに助けられた感謝の気持ちと幸福になってくださいというメッセージを込めてコレクション200点のうち65点の展示の場を設けられたそうです。絵画は絵からの印象、画家の技法だけでなく、時代背景、画家の人生、収集家の嗜好、思い、そうしたものを総合して鑑賞するともっと理解でき、楽しくなることを柿沼さんから教わったような気がします。こうした機会を頂き、有難うございました。(C.W.)



チューリッヒ近郊イベント情報

LUCERNE FESTIVAL

ゲザ・アンダ財団『Conducting from the Piano』www.geza-anda.ch
 9月1～8日 10:00～
 ミハイル・ブレトニョフ、ルツェルン交響楽団4人の若手ピアニストが巨匠から学んでいく過程を体験できるマスターコース。9月7日19:30 終了コンサートOrchesterhaus des Luzerner Sinfonieorchesters, Arsenalstrasse 28b 6010, Kriens
 9月8日Tonhalle Zürich, Kleiner Saal

LANGE NACHT DER MUSEEN

9月3日 25フランで18時～2時まで美術館巡りが出来る。チューリッヒ美術館 Kunsthaus Zürich Helmhausではカラオケ、動物園やFIFAミュージアムも！
<https://langenacht-zuerich.ch>

WELTKLASSE ZÜRICH

9月7～8日18:00～23:00
 ダイヤモンドリーグ
 世界トップレベルのアスリートがStadion Letzigrundに集まる！

ZÜRCHER KNABENSCHIESSEN

9月10～12日、移動遊園地や露店、射撃大会など子供が楽しめるイベント。
 Uetlibergstrasse 341, 8045 Zürich
www.knabenschuessen.ch

OPERAHAUS

オープニングデー 9月10日10:00～
 ↑↑ 今月の最注目 ↑↑
 ・ナブッコ 9月11, 16, 25, 28日
 ・トロヴァトーレ 9月17, 24, 27, 29日
 ・ワルキューレ新演出9月18, 21, 8, 10日
 ・フィガロの結婚 9月23, 25日
 ・魔女のヒラリー、オペラへ行く 9月24, 25, 28日
 ・バレエ《夏の夢》プレミエ 9月30日

TONHALLE-ORCHESTER ZÜRICH

・9月14～16日シーズンオープニングコンサート ←今月の最注目！
 ・P.ヤルヴィ (指揮)、バユ (フルート) 細川俊夫「フルートとオーケストラのための《セレモニー》」(スイス初演)、ブルックナー「交響曲第8番」
 ・9月21, 22日 P.ヤルヴィ (指揮)、H.ハーン (vn) ニールセン《マスケラーデ》序曲、シベリウス「ヴァイオリン協奏曲」、プロコフィエフ「交響曲第5番」

ZURICH FILM FESTIVAL

チューリッヒ国際映画祭
 9月22日から開催
<https://zff.com/>

JCZ企画

WINE TASTING
 AM ZÜRICHSEE

中央駅から車で30分余り、Rapperswil-Jonaのチューリッヒ湖畔では何世紀にも渡りワインが造られてきました。そんな美しいブドウ畑の真ん中で、ワインリー Höckleistein の専門家の解説を聞きながら美味しいスイスのワインを味わってみませんか？チーズと干し肉のプレートも楽しめます。

JAPAN CLUB ZÜRICH
WWW.JAPANSWISS.CH

日時：9月24日(土)
 12:00 開始
 約3時間
 場所：Weingut Höckleistein
 のRebhüslibudw畑の小屋
hoeckleistein.ch
 Oberer Gubel, Rapperswil-Jona
 S7 Kempraten駅より徒歩約8分
 参加費：会員 30フラン
 定員：25名
 申込：HPのフォームから、またはkikaku@japanswiss.chまで
 参加者全員のお名前と年齢をお書き添えください。対象年齢16歳以上。お子様連れの方はご相談ください。
 締切：14日(水)定員になり次第、受付終了



スイス・日本協会



雅楽公演
 のご案内



公益社団法人 北之台雅楽アンサンブルによる雅楽演奏
 (100分、休憩20分程度)

日時：9月23日(金)
 19時30分開演
 会場：Musikschule
 Konservatorium Zürich,
 Florhofgasse 6, 8001

長田 忠雄さん (フォルヒ在住)

お仕事は？

この欄に登場される若い方々のように、「私はXXの仕事をしています」と言えず、後期高齢者の年齢に達してスイスで余生を送っている者です、と言うのも気恥ずかしいのですが、たまたま編集部のお誘いをいただいたので登場させていただきました。従って過去形でお答えします。

3大国際金融資本市場である東京、ニューヨーク、ロンドンでインベストメントバンキング（投資銀行業務）の仕事に長年従事してきましたが、人生後半はプライベートバンキングの本場であるスイスで15年ほど資産運用の仕事に携わり、最終的にチューリッヒで定年退職を迎え現役を終えました。

スイスに来るまでのお話

若い頃にジュネーブに家族で2年ほど滞在しましたが、それ以外は殆どが米・英国での滞在が長く、社会に出からは日本よりも圧倒的に海外生活が長くなってしまいました。出身は東京の品川区で先ずはここが第一の故郷になりますが、第2、第3、第4…の故郷があちこちにあるようなものです。滞在した都市はどこも捨てがたいほど日本人としては住みやすい快適な場所ですが、その中で恐らくチューリッヒが終の住処になりそうで、総合評価としてはこのスイスにほぼ最高点がつけ

られます。物価が高いのが難点とは言っても、今やニューヨークだロンドンだと世界の大都市と比べてもむしろ急激に進む欧米のインフレの影響で、あちらの方がかえって物価が高いほどではないかと感じます。



それを除いても圧倒的な高評価点が付けられるのは何と言っても世界が羨む税制優遇でしょう。若い皆さんはあまり気にも留めないでしょうが、スイスは何と言っても準タックスヘイブンとも言える非課税の恩恵に与れる国だからです。どの国でも当然のように課される売買益課税、贈与税や相続税（カントンにもよるようですが）が非課税であるということは当然資産の歩留まりに大変な違いが生じる訳です。スイスが何故これほど富裕な国なのか、という大きな理由はこういう税体系にあります。日本で3代に渡って相続を繰り返すと代々の資産が全て国に召し上げられる、とよく言われますが、スイスでは先祖代々の資産が非課税で次の世代に受け継がれる訳ですから、この国の豊かな理由がはっきりします。

これまでスイスは税逃れのための資産隠しを補助する金融立国、という後ろめたいイメージがありましたが、それも今は昔、2008年のリーマンショックをきっかけにスイス金融規制当局が全ての銀行口座を洗い出し、脱税、犯罪等に関わる資金を全て排除し大掃除をしてきたお陰で、今やスイスの金融機関は世界に冠たる透明性の高い銀行に生まれ変わったのです。

又、スイスの金融商品は、世界広しといえども、これぞ消費者目線に立った商品、と言えるほど資産形成に大きな寄与をしています。住宅融資一つとっても、日本では当初から元利金の均等返済スケジュールに則ってがんじがらめにされ身動きが取れなくなりますが、スイスの住宅融資では融資期間中の利息支払いのみ（Interest only）で元金返済不要、という制度も選択できるため、物件の値上がりで途中売却もよし、他の運用商品で運用益を充当するもよし、インフレ効果で実質返済額を減らすもよしで、僕もこういう融資受益者の一人です。又、投資商品としても投資目的に沿ったスイス固有の運用商品が多く存在します。十分な金融リテラシーを身につけ投資経験を重ねることで、更なる資産形成ができるという、願ってもない国に滞在しているということを特に若い皆さんには知って欲しいと思います。

影響を受けたヒト・コト・モノは？

中野孝次(ドイツ文学者)の書いた「清貧の思想」に大変影響を受けています。物質文明が極まってあらゆる事が墮落するように見える昨今、こういう人間本来の姿に立ち返って物事の本質を失わないよう、常に自らを戒めています。更に西行、芭蕉、良寛等、素晴らしい句に、日本人である喜びと誇りを感じます。

編集後記

日本入国前72時間のPCR検査陰性証明提出義務がようやく撤廃されましたね！海外在住組だけでなく、日本から出張に来ていた方も、結果が出るまで気が休まらず、お気の毒でした。その方、ルツェルン音楽祭にデビューする若手ピアニスト藤田真央さんの所属するソニー・ミュージックのプロデューサーで、取材アシストにいらしていたのです。チューリッヒで開催されるクララ・ハスキルコンクール優勝、チャイコフスキーでも2位。ヴェルビエ音楽祭にも常連となり、今年はマルタ・アルゲリッチの代役も任せられるほど。来年放映予定のテレビ番組取材も入り、スイスの風景も日本で観られるでしょう。今後の彼の活躍も、注目したいです。

太陽の光が優しい初秋の候、果実と共に、皆様も爽やかな時期になりますように！(SN)

広告掲載のご案内

ジャパンクラブチューリッヒでは、会員の方からのお知らせ・広告掲載、フライヤー等の会報同封配送を、有料(一部無料)で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

伝言板コーナーをご利用ください。

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前(会員に限る)を入れた原稿を毎月10日までに編集部までメールにてお送りください。

*JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます。

JCZ会報誌エーデルワイス

2022年9月号

発行責任者：青砥 玄(会長)

編集：中 東生

レイアウト：鎌田 裕子

編集部専用メールアドレス

edelweiss@japanswiss.ch

JCZ Japan Club Zurich

Office of Honorary Consul

General of Japan

Utoquai 55 8008 Zürich

www.japanswiss.ch

jcز@japanswiss.ch

